























業種別景況予測

平成25年10月～12月

					
特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振

部会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概況
寝装 リビング			「小口ではあるが、昨年より加工量が微増」「アクリル原料は一時円安になる予想で値上げ予定だったが、為替が落ち着いているので値上げは見送り」「先行き不透明のため、積極的に動けない状況が続く」とのコメントが寄せられた。
繊維 ファッション			「月単位で多少の上下はあるが、見通しは相当悪い」「業界全体は良くはないが、特化したアイテムの評価で業績向上中」「目先は悪くないが、段々と減少していく可能性あり」「天候の関係で秋物前半戦は総崩れ。後半(10～12月)で挽回は苦しいかもしれない」とのコメントが寄せられた。
工業			「10月に入ってから売上減少。先行き短期的にはしばらく続くものの春先には回復してくるものと推測している」「消費増税前の駆け込み需要が旺盛と見受けられる」とのコメントが寄せられた。
建設			「少し良くなったように感じる」「ナチュラル志向になっている」「大阪の建設業界は依然として厳しい状況にある」とのコメントが寄せられた。
運輸倉庫			「燃料価格の高騰が続く中、運賃騰がらず経営の悪化が続く」「国内は消費増税前の駆け込み需要あり。輸出は上昇気味」「商品の入荷状況は良好であるが、冬物商品の出荷状況は良くなく、今後の天候等の動向次第」とのコメントが寄せられた。一方で「運賃単価は変わらないが数が増えてきた。効率化と改善が必要」とのコメントも寄せられた。
金融理財			「近畿の景気状況の見通しや明るさは実感できず」「不動産業界では、消費増税施行により、様子見が広がっている」「賃貸オフィスの市況は厳しい。賃料引下げも視野に入れている」「高齢化社会の実態をどのように自社内に取り入れ、収益につなげていくかが勝負である。すべての企業に通じます」とのコメントが寄せられた。
一般商業			「今年に入り売上減少。景気が悪く資金繰りも苦しい状態」「7～8月はまずまずだが、9月頃より下降気味」「9月は少々好転かと思うところはあったが、10月はまたも悪化」とのコメントが寄せられた。一方で「コストアップによる利益率の低下が見込まれるが他社との差別化を図り売上高は順調」とのコメントも寄せられた。
サービス業			日銀調査では「近畿地域の景気は緩やかに回復し、生活必需的などの基礎的支出については、抑制的な支出スタンスが続いているが、趣味・嗜好品や非日常的なイベント・サービスなどの選択的支出には惜しまない動きがあり、メリハリを意識した消費行動が進展している」とあるが、当地域までは波及していない状態である。「未だに好転の兆し見えず。今後、増税の影響により、さらに悪化」とのコメントが寄せられた。

(調査概要) ●調査実施 平成25年10月 ●調査対象企業 255社 ●回答数 114社

寝装リビング 13社 工業 20社 運輸倉庫 13社 一般商業 12社

繊維ファッション 16社 建設 12社 金融理財 16社 サービス商業 12社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111